

医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院

大原 和美 (おおはら かずみ) エレクトー株式会社 マーケティング開発部 コンサルタント室

要約 医療・高齢者福祉給食において様々な課題を抱える中、人手不足はより深刻さを増している。その課題解決の手段として、ニュークックチルシステム導入、グループ内給食部門統合（セントラルキッチン化）、外部資源（調理済み食品）の活用、などが注目されている。ニュークックチルシステムは「新築」「中～大規模施設」への導入が大半を占めているが、本例では「既存施設かつ小規模施設」への導入を成功させた事例を紹介する。ニュークックチルシステム導入と並行してセントラルキッチン（=以後「CK」とする）稼働によるグループ内への給食の配送を開始、省力化と給食サービス向上を実現し、人手不足でも対応できるシステムを構築した。

1. はじめに

医療法人慈風会は鹿児島県鹿児島市に位置し複数の施設を有している。脳血管疾患専門病院・施設として、疾病の予防・早期発見から急性期・慢性期の治療を経て、社会や家庭への復帰・在宅介護まで一貫した医療サービスを提供されている。

昭和47年に開院した厚地脳神経外科病院（写真1）は、脳神経外科を中心とした63床（HCU17床、一般病床46床）からなる急性期病院で、平均在院日数は約12日となっている。開院以来、50年にわたり鹿児島市域の急性期脳卒中治療を中心とした地域医療に貢献されている。

栄養科では、2015年より凍結含浸食を提供されるなど日々新しいことに取り組まれている。この度は、慢性的な人手不足を背景にニュークックチルシステム導入された、その取組を紹介する。



写真1 施設外観

2. 施設概要

名称：医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院

所在地：鹿児島県鹿児島市東千石町4-13

診療科：脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科

病床数：63床

関連施設：厚地リハビリテーション病院、厚地記念クリニック・PET画像診断センター、厚地かもいけクリニック、介護老人保健施設 鴨池慈風苑他 介護関連施設、厚地健康増進センター、療育施設、社会福祉法人慈風会 特別養護老人ホームかもいけ